

クラシック音楽の今がわかる

ぶらあぼ Classical Music
+ Dance and more

クラシック音楽情報誌『ぶらあぼ』

クラシック音楽情報ポータル「ぶらあぼONLINE」

媒体資料

<https://ebravo.jp>

© 2026 BRAVO Holdings All rights reserved.



クラシック音楽情報誌『ぶらあぼ』(月刊)

ぶらあぼ Classical Music
+ Dance and more

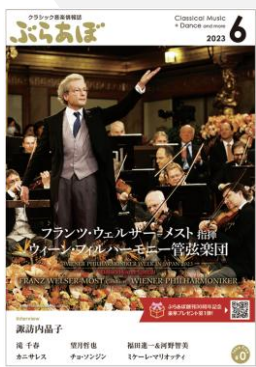
創刊31年目を迎えた、クラシックファンのためのコンサート情報フリーマガジン

創刊: 1994年

発行: 毎月18日

製本寸法: A5規格

サイズ



発行部数 **35,000部** ※ぶらあぼONLINEでデジタルマガジンとしても購読可能

配布場所 コンサートホール、音楽大学、楽器店（ヤマハミュージック、山野楽器、島村楽器他）、CDショップ（タワーレコード、HMV 他）など北海道～沖縄まで全国約700ヶ所の拠点で無料配布／公益社団法人日本演奏連盟の全会員約3,200名に定期送付

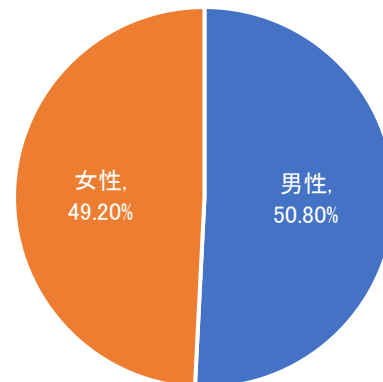
本誌の特長

1. 全国の最新コンサート情報や公演紹介記事を掲載した**日本最大のクラシック音楽フリーマガジン**として、30年にわたりクラシックファンの間で絶大な支持を得ています。
2. 国内の主要音楽祭の特集や海外オーケストラの来日情報など、話題の音楽シーンのチケット発売情報を逃すことなく入手することができます。人気アーティストのインタビュー記事やコラムはもちろん、新譜CD・書籍新刊情報や海外公演情報も網羅し、**ビギナーからコアなファンまで、さまざまな読者層が楽しめるコンテンツ**を掲載。**圧倒的な情報量**がA5サイズのコンパクトな雑誌の中に集約されています。
3. 2022年より**吹奏楽の特集記事**を毎号設けたり、ぶらあぼONLINEで好評の**ピアノコンクール特集**をハイライト版で雑誌でも展開するなど、近年はクラシック界の5年後、10年後を見据え、特に**若年層へのアプローチ**を意識した誌面作りを心がけています。
4. 広告主は、音楽事務所、全国の音楽ホールなどの公演主催者、コンクール主催者のほか、楽器メーカー、楽器店、CDレーベル、音楽大学（入試告知等）、音楽スタジオと多岐にわたっており、**広告の内容そのものが貴重な情報源**として、読者によく読まれているのが特徴です。

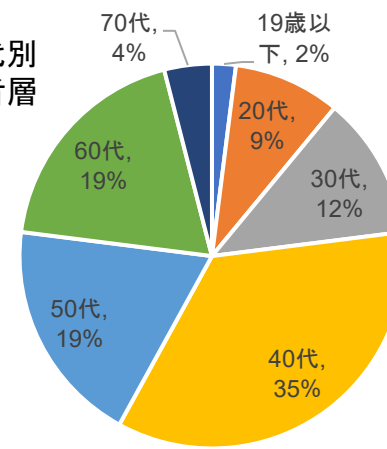
読者の属性

30代～60代を中心に幅広い年齢層が支持

男女比



世代別読者層



Contents

独自取材によるインタビュー、特集記事を中心に誌面を構成

インタビュー & 公演紹介

Pre-Stage interview 2ページの巻頭インタビュー記事
BRAVO Tips interview 1ページのインタビューおよび特集記事

Close Up 音楽祭、座談会など不定期の特集記事

Pick Up さまざまな注目公演を取り上げた記事

連載 読みもの

城所孝吉「気分はカプリッチョ」(ベルリン音楽事情)
乗越たかお「誰も踊ってはならぬ」(ダンス界を斬る)

CD情報

New Release Selection 注目の新譜CDをピックアップ

国内盤&輸入盤新譜情報

書籍新刊

Books 書店ランキング(ヤマハ銀座店提供)やクラシック関連の近刊情報を掲載

公演情報

海外公演情報 海外旅行者向けに欧州を中心に注目公演を紹介

公演紹介

注目公演 刊行月の公演情報をピックアップして掲載
(コロナ禍を機に、ニュース、TV・FM情報、公演カレンダーなど
即時性の必要なコンテンツをwebに移行しました)

吹奏楽

さまざまな角度から、常に音楽ファンのニーズに応え、クラシック音楽文化とアーティストの魅力を伝えるようなコンテンツを提供してまいります。



出稿の規模に応じて、編集部でさまざまなタイアップ記事(無料)を作成・掲載。クラシック界で知名度の高いライター陣が執筆しています。



2022年にスタートした全国の学校の吹奏楽部を訪ねる応援企画が若年層に好評を博しています。

ショパンコンクール開催直後、話題の出場者らを編集部へ招き、独自取材したタイムリーな企画が話題を呼びました。

ぶらあぼONLINE（ウェブサイト）



<https://ebravo.jp>

◎ぶらあぼONLINEを核とした多彩なウェブメディア

クラシック音楽業界の最新ニュースはこちら！

クラシック音楽シーンの今がわかる！新しい情報が日々更新されます。

コンサート
検索
データベース

ぶらあぼの生命線とも言える、他の追随を許さない圧倒的な情報量。近日、チケット販売と連携予定。

ぶらあぼ
ONLINE
記事・読みもの
総合ポータル

チケット販売

電子チケット販売サービス「teket（テケット）」と連携

ONLINE内の記事やコンサート検索データベースとの連携により、公演紹介からチケット購入までワンストップで。

SNS
X
Facebook
Instagram
LINE

クラシック音楽メディア No.1のフォロワー数を誇る Xをはじめ、2023年5月スタートのLINEも好調。

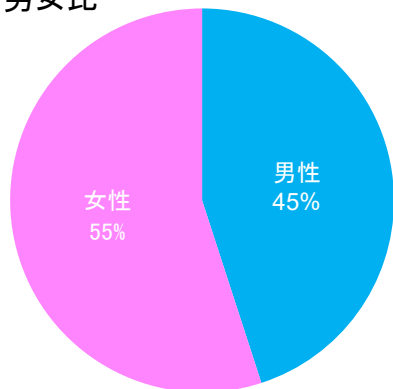
ぶらあぼONLINEの特長

1. 最新ニュースや注目アーティストのインタビュー、全国の公演情報、TV・FM番組情報、前売チケット発売情報などクラシック・ファンが求める幅広い情報を網羅したポータルサイト。**SNSとの連動**により集客が見込めます。
2. 海外のコンクールの速報レポートなど、即時性を重視して公開しています。
3. ONLINEトップページから、**コンサート検索データベース**や**動画&ポッドキャスト配信のWeb Station**にも**シームレスに移行可能**。読みものだけでなく、耳でも楽しめるコンテンツをお届けします。
4. **アーティスト自身の言葉**をファンに届けることを最も重視。国内外で活躍する演奏家たちが自ら語った言葉をクラシックファンにさまざまな形で伝えます。
5. 読者に向けて、定期的に**プレゼントキャンペーン**を実施するなど、継続的に来訪してもらえる施策を打っています。

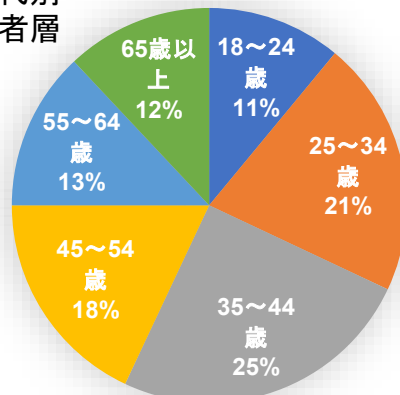
読者の属性

雑誌に比べ年齢層が若く、やや女性優位

男女比



世代別
読者層








メディアプロフィール (2026年6月)

- 月間ページビュー **830,000** PV
- 月間ユニークユーザー **227,600** UU

WEBメディアとして成長中!

業界メディア **No.1** の公式SNSフォロワー数
(2026年5月時点)

 (旧twitter) @bravo_tweet	49,800 人
 @BravoClassic	27,100 人
 @bravoclassic	7,300 人
 @bravoclassic	16,700 人 友だち登録者数
 @BravoTokyoMDE	6,100 人

※ X、Instagramでの配信

ぶらあぼONLINE ピアノコンクール特集

プレーヤー層を含むピアノ好きが集結。SNSで大いに盛り上がる。



① ショパン国際ピアノコンクール (2025年10月)

2,720,000PV

※コンクール期間中の月間PV

ぶらあぼ Classical Music Dance anime

第19回 ショパン国際ピアノコンクール2025
一般観客・入賞者 日本公演

19th International Fryderyk Chopin Piano Competition - Results

WINNERS PRIZES

- 第1位 - Eric Lu エリックルー (アメリカ)
- 第2位 - Kevin Chen ケビンチェン (カナダ)
- 第3位 - Zhong Wang 鍾王 (中国)
- 第4位 - Tianyao Liu ティンヤオリュウ (中国)
- 第5位 - Piotr Albrecht ピョートル・アルブレヒト (ポーランド) / Vincent Ong ウィンセント・オン (マレーシア)
- 第6位 - William Tang ウィリアム・タン (アメリカ)

SPECIAL PRIZES

- アジア最優秀演奏賞 Yuhua Prokopenko イョフワ・プロコペンコ (ポーランド)
- コンチェルト最優秀演奏賞 Tianyao Liu ティンヤオリュウ (中国)
- ソナタ最優秀演奏賞 Zhong Wang 鍾王 (中国)
- ポロネーズ最優秀演奏賞 Tianyao Liu ティンヤオリュウ (中国)
- パワート最優秀演奏賞 Adam Kalufala アダム・カルフラスカ (ポーランド)

AUDIENCE AWARD

- 第1位 - Piotr Albrecht ピョートル・アルブレヒト (ポーランド)
- 第2位 - Vincent Ong ウィンセント・オン (マレーシア)
- 第3位 - Tianyao Liu ティンヤオリュウ (中国)

最新記事

- ショパンコンクール審査員INTERVIEW ユリアント・アブデーエフ
- ショパンコンクール審査員INTERVIEW 荒玉桃
- ショパンコンクール審査員INTERVIEW 荒玉桃
- ショパンコンクール審査員INTERVIEW 荒玉桃

② エリザベート王妃国際コンクール (2025年5月)

1,310,000PV

ぶらあぼ Classical Music Dance anime

エリザベート王妃国際コンクール ファイナルを振り返って

第19回 ショパン国際ピアノコンクール2025
一般観客・入賞者 日本公演

ピアノコンクール特集TOP

2025 高橋はる香のピアノコンクール巡り日記 from ブリュッセル

2025 高橋はる香のピアノコンクール巡り日記 from ブリュッセル

1月24日から26日にかけてはる香のファイナリストが演奏した、エリザベート王妃国際コンクールは、最終結果が発表されました。

第1位 Nikita Meeussen
第2位 Yuhua Prokopenko
第3位 Valérie Buntin
第4位 Arthur Hönemann
第5位 Sergey Tsinn
入賞 Rachel Breen, Mirabelle Kaperjans, 泉原悠真, Nathalia Milder, Jaanika, Jasin Mita, 色見美貴

最新記事

- 音楽と舞台でキラキラ輝くドラマチックな世界を舞台へ - HISAY OPIERA (サンドリジョン) デマプロレポート
- 音楽と舞台でキラキラ輝くドラマチックな世界を舞台へ - HISAY OPIERA (サンドリジョン) デマプロレポート
- 音楽と舞台でキラキラ輝くドラマチックな世界を舞台へ - HISAY OPIERA (サンドリジョン) デマプロレポート
- 音楽と舞台でキラキラ輝くドラマチックな世界を舞台へ - HISAY OPIERA (サンドリジョン) デマプロレポート

◎現地からの速報レポートが大反響

近年、大きな反響を読んでいるのが海外のピアノコンクールです。ぶらあぼでは、音楽ライターを現地に派遣し、ラウンドごとの会場の様子を速報。入賞者や審査員のインタビューも、取材の翌日には公開するなど、オンラインならではの**即時性を重視**し、ピアノファンの支持を得ています。サイトを訪れる層は通常時より若く、**20代、30代の女性が中心で、プレーヤー層が多い**のが特徴です。ピアノ人口の裾野の広さを実感させられます。

ぶらあぼONLINEのなかでは、現在最も強力なコンテンツとなっています。

記事広告メニュー

オリジナリティの高い記事を制作！
タイミングは臨機応変に対応！

公演のプロモーション、出演アーティストのインタビューなど、ご希望に合わせて記事を作成いたします。トップページの上位表示枠からの誘導や、Twitter、Facebookを活用した誘導で読者にリーチします。記事は、ぶらあぼ本誌でも執筆しているライター陣を起用。ご支給いただいた写真や動画を記事内に埋め込むこともでき、クオリティ面での満足感も高いプランです。

項目	掲載期間	料金
記事掲載・SNS告知（取材なし）	掲載時トップ表示 その後サイト内回遊	200,000円
取材・記事掲載・SNS告知	掲載時トップ表示 その後サイト内回遊	250,000円
取材・撮影・記事掲載・SNS告知	掲載時トップ表示 その後サイト内回遊	300,000円

（価格は税抜です）

掲載文量目安：2000字程度／本

掲載開始日：平日任意

記事アーカイブ：あり（原則）

- ・制作内容やボリュームによって、金額が変更になる可能性があります。
- ・遠隔地への取材に関しては別途費用を申し受けます。

【PC表示

INTERVIEW イ・ムジチ合奏団（弦楽合奏）

© 2023年9月8日 ■ INTERVIEW ■ 注目公演

いいね！ 197 ツイート LIMEE8

70年以上、ヴィヴァルディを演奏してきたことは大きな誇りです



取材・文：林昌英

イ・ムジチ合奏団が4年ぶりに日本ツアーを行う。2021年には創立70周年記念ツアーが行われるはずだったが中止になり、今回の来日における彼らの思いは強い。この機に日本ツアー公演について語ってもらった。

—日本公演はイ・ムジチにとってどのような存在でしょうか？

日本はイ・ムジチの演奏を最も歓迎して下さる国の一つです。60年以上も日本ツアーを続けてきて、日本の変化を見てきた以前のメンバーたちは、日本は戦後に国を再建するなかで、伝統に深く根差しながらも柔軟に現代性を取り入れていった国だとよく話していました。2011年に東日本大震災が起きた際には同年11月に栃木まで行き、その4年後には復興支援プロジェクト「アーク・ノヴァ」(*)の一端で福島公演が実現して、演奏後に福島の方々が目に涙を浮かべて声をかけてくださいました。私たちの日本との絆を象徴する大切な思い出です。

*「アーク・ノヴァ」宮城県・福島(2013年)、宮城県・仙台(2014年)、福島・飯坂(2015年)

—日本での演奏の際に、他の国とは異なる独特なものを感じることはありますか？

日本では、街の大小を問わず全国で、美しいコンサート・ホールが私たちを迎えてくれます。また、日本には礼儀正しく落ち着いた素晴らしい聴衆がいることは、欧米の演奏家の間でよく知られています。私たちに敬意を払ってくださっているのでしょう。コンサート中、特に最初の2〜3曲の間はやや興奮が止まらないのですが、演奏会が進むにつれて緊張が解けてきて、「四季」を演奏し始めると、全ての感情を解き放ち、熱烈で情熱的になるのを感じます。近年、日本での「お決まりの」アンコールが「赤とんぼ」で、この曲の演奏中は、会場にいる方々の心の動きを感じることができます。

【スマホ表示例】

INTERVIEW イ・ムジチ合奏団（弦楽合奏）

© 2023年9月8日 ■ INTERVIEW ■ 注目公演

いいね！ 197 ツイート LIMEE8

70年以上、ヴィヴァルディを演奏してきたことは大きな誇りです



取材・文：林昌英

イ・ムジチ合奏団が4年ぶりに日本ツアーを行う。2021年には創立70周年記念ツアーが行われるはずだったが中止になり、今回の来日における彼らの思いは強い。この機に日本ツアー公演について語ってもらった。

—日本公演はイ・ムジチにとってどのような存在でしょうか？

日本はイ・ムジチの演奏を最も歓迎して下さる国の一つです。60年以上も日本ツアーを続けてきて、日本の変化を見てきた以前のメンバーたちは、日本は戦後に国を再建するなかで、伝統に深く根差しながらも柔軟に現代性を取り入れていった国だとよく話していました。2011年に東日本大震災が起きた際には同年11月に栃木まで行き、その4年後には復興支援プロジェクト「アーク・ノヴァ」(*)の一端で福島公演が実現して、演奏後に福島の方々が目に涙を浮かべて声をかけてくださいました。私たちの日本との絆を象徴する大切な思い出です。

*「アーク・ノヴァ」宮城県・福島(2013年)、宮城県・仙台(2014年)、福島・飯坂(2015年)

—日本での演奏の際に、他の国とは異なる独特なものを感じることはありますか？

バナー広告メニュー

各ページの指定の場所にバナー画像が表示されます。
公演のプロモーション等にご活用ください。

(税別)

バナー広告枠	掲載期間	料金
プレミアム (ランダム表示) ^{※1 ※2} 1080px × 240 px 72dpi	1ヶ月	250,000円
	2週間	175,000円
スペシャル (ランダム表示) ^{※1} PC用: 768px × 768 px 72dpi SP用: 768px × 256 px 72dpi	1ヶ月	200,000円
	2週間	140,000円
スタンダード (ローテーション) ^{※3} 768px × 256 px 72dpi	1ヶ月	100,000円
	2週間	70,000円
	1週間	40,000円

※1 プレミアム、スペシャルは、お申込み期間が重複した場合、最大2社同時掲載でランダム表示

※2 プレミアムのみ、ぶらあぼONLINEとコンサート検索の両ドメインに表示

(その他のタイプはぶらあぼONLINEのみ)

※3 スタンダードは、1営業日ごとに表示位置がローテーション

差替原稿は掲載期間中1回まで

掲載：平日任意/午前中掲載スタート 入稿締切：3営業日前

スマートフォンでの表示に最適化するため、スペシャルをご出稿いただく場合は2サイズのバナー画像をご用意ください。



広告のお申込み・お問い合わせ



株式会社 ぶらあぼホールディングス 広告係

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-2-6 田中ビル3階

Tel 03-3511-0813

Mail info@mde.co.jp

URL <https://ebravo.jp>